



# 絵本を届ける運動

本  
の  
力  
を  
、  
生  
き  
る  
力  
に  
。



## なぜ絵本を届けるの？

本を知らないということは、つまり教育を受ける機会がないということ。教育を受けることができないと、安定した仕事に就けず、貧困から抜け出すことができません。学校や図書館などが不足している国では、子どもたちが学ぶ機会を持たないまま、大人になってしまいます。

シャンティは厳しい環境で暮らす子どもたちにも、知らない世界を知るドキドキ、時間を忘れて夢中になる楽しさ、たくさんの物語や言葉を知る喜びに出会ってほしいと願い、絵本が不足している地域に

日本から翻訳絵本を届けています。



## 困難な状況でも、安心と学びの時間を

ミャンマーの軍事政権による人権弾圧や紛争から逃れるため、国境を越えてタイに難民が到着してから50年がたちました。数千人だった難民の数は、10万人近くに増えています。

シャンティは2000年以来、タイとミャンマーの国境地帯に広がる難民キャンプで、コミュニティ図書館の運営を通して子どもたちが安心して過ごせる場、学べる場を提供しています。

不安を抱える人たちに寄り添いながら活動を続け、今では図書館は連日多くの利用者でにぎわっています。



「絵本は世界とつながる窓」  
難民キャンプの図書館を  
紹介する映像です。  
こちらからご覧いただけます。



## あなたのつくった 翻訳絵本が届くまで



### 1 翻訳絵本づくり

ご自宅や職場で、絵本に現地語の翻訳シールを貼っていただきました。

2025年1月～10月  
のべ16,184人、405企業・団体が参加  
(参加費・募金額：59,837,169円)

毎年の申込期限：10月末まで



### 2 翻訳絵本を海外へ

翻訳絵本はシャンティ東京事務所に集められます。梱包した翻訳絵本を運び出すのは年1回です。

2026年2月3日  
シャンティの職員や関係者  
46名が参加



### 3 海外事務所に到着

日本から船便や航空便で各国・地域のシャンティ事務所に届きます。船便輸送は日本郵船株式会社にご協力いただいています。

2026年3月～4月ごろ到着予定



### 4 子どもたちの手元へ

- ・移動図書館
- ・おはなしの読み聞かせ
- ・学校や図書館への配架などの活動を通して、翻訳絵本が子どもたちへ届きます。

2026年5月以降





### テーマ「平和」

『きょうせんそうがはじまると』

作：藤代 勇人、絵：塚本 やすし、出版社：ニコモ

もし戦争が始まったら、自分の身の回りがどう変わってしまうのか。戦争で子どもたちの日常生活が失われていく様子が短い言葉とイラストで描かれていきます。

絵本を届けている活動地では紛争の影響を受けている子どもたちが少なくありません。当たり前だった家族との生活や友達と通う学校を突然始まった戦争によって奪われています。子どもたちにかけがえのない平和について考えてほしい、「戦争」や「平和」をテーマにした絵本は毎年リクエストが届きます。

## どんな絵本を届けたの？

シャンティが活動を行う国や地域では、実施している活動内容や子どもたちの年齢、文化的背景などに応じて必要な絵本が異なります。毎年届ける絵本は海外事務所から届くテーマやジャンルのリクエストに基づき、児童書の書店員、図書館員、出版社からおすすめの絵本を教えてください。その後、候補タイトルを活動地に送り、最後は子どもたちと日ごろ接する現地職員が選びます。

2025年度に届けた絵本の一部(2025年度の実績：37タイトル)



### テーマ「自然保護」

『ワングリの平和の木』

作：絵：ジャネット・ウィンター、訳：福本 友美子、出版社：BL出版

建物を建てるために樹木が切り倒され砂漠化がすすんでしまった故郷。以前のよ様な緑を取り戻すため、数本の苗木を植えることから運動をはじめたケニアの女性の伝記絵本です。

経済発展にともなう自然破壊が課題となっているアジア地域では、自然保護への関心が高まっています。わかりやすいストーリーを通して、子どもたちに自然を守ることの大切さを伝えられる絵本です。



### テーマ「しごと」

『おおきくなったら、なんになる?』

著者：刀根 里衣、出版社：NHK出版

宇宙飛行士、消防士、デザイナーに美容師……。かわいらしい白うさぎの主人公が変身しながら職業を紹介していく「おしごと」絵本です。活動地の子どもたちがはじめて知る職業も多く描かれています。彼らがさまざまな職業について想像しながら、将来の夢について考えることができる絵本です。「楽しく読み聞かせができる」と活動地の図書館員の方など大人にも大人気です。



### 活動地からのさまざまなリクエスト

- 動物や昆虫について学ぶことができる絵本
- 自然や科学、植物について学ぶことができる絵本
- 家族について考えることができる絵本
- 戦争や平和について考えることができる絵本

さまざまなリクエストが活動地から届きます。日本語独特の言い回しなどが含まれている絵本、活動地でなじみがない右開きの絵本、著作権の許諾が得られなかった絵本などは候補から外し、できる限りリクエストに沿った絵本を選びます。



### テーマ「恐竜」

『すごいぞ!! きょうりゅう』

作：絵：鎌田 歩、出版社：教育画劇

ページをめくるたびに恐竜が動き、ワクワクドキドキできる「しかけ絵本」です。「恐竜の人気の環境はないはず」と、日本の図書館員の方からご紹介いただきました。トリケラトプス、ステゴサウルス、ティラノサウルス……。実物を見られない恐竜の姿は、日本でも活動地でも子どもたちの想像をかき立て、楽しく読まれています。



シャンティ国際ボランティア会は特定公益増進法人の認定を受けています。「絵本を届ける運動」への参加費はご寄付として、税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。領収書が必要な方はご連絡ください。

## 皆さまとつくる翻訳絵本

「絵本を届ける運動」は、ひとりでも家族や仲間とでも、初めての方もリピートの方も、誰でも楽しく参加できる国際協力プログラムです。2026年度は36タイトル・17,888冊の絵本を届けます。皆さまがつくる“1冊”が、海を越えて、アジアの子どもたちの未来をひらく大切な1冊になります。ぜひ翻訳絵本づくりを通して、学びへの一歩を一緒に届けてください。

毎年の申込期限 10月末まで \*目標冊数に達した時点でお申し込み受付を終了いたします。

## 2026年度のお申し込みはこちらから

🔍 シャンティ 絵本を届ける運動



[sva.or.jp/ehon](https://sva.or.jp/ehon)



公益社団法人シャンティ国際ボランティア会  
Shanti Volunteer Association (SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

Tel. 03-6457-4585 (「絵本を届ける運動」直通) / 03-5360-1233 (代表)

Fax. 03-5360-1220 E-mail. [ehon@sva.or.jp](mailto:ehon@sva.or.jp)

「絵本を届ける運動」2025年度 活動報告書 2026年3月1日  
後援：文部科学省、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 読書推進運動協議会  
助成：公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 | 輸送協力：日本郵船株式会社  
デザイン：保田 卓也 | 写真協力：川畑 嘉文 | イラスト：きよはら えみこ  
[写真中の絵本] 〈ひさかたチャイルド〉『どうぞのいす』作：香山美子、絵：柿本幸造  
〈あすなる書房〉『ゆき』作：ユリ・シュルヴィッツ、訳：さくまゆみこ  
〈こぐま社〉『わたしのワンピース』作：にしまさ かやこ  
〈ポプラ社〉『せかいいちうつくしいぼくの村』作：絵：小林 豊  
〈福音館書店〉『もうちょっと もうちょっと』文：きむら ゆういち、絵：高島 純  
〈鈴木出版〉『山は している』作：リビー・ウォルデン、絵：リチャード・ジョーンズ、訳：横山和江  
〈佼成出版社〉『ダメ!』原作：くすのき しげのり、文・絵：いも ようこ  
〈小峰書店〉『なまえのないねこ』文：竹下文字子、絵：町田尚子

受け取った人たちの声

# Afghanistan

## アフガニスタン ファリダさん [仮名] (図書館を利用する子ども)

私の家は経済的にあまり余裕がありませんが、両親は私たちに  
より良い生活を送らせるために、一生懸命働いています。私は  
読書が大好きで、学校が閉鎖されて行く場所がない今、毎日図  
書館に通っています。『せかいいちうつくしいぼくの村』(ポプラ社)  
という本はイラストがきれいだから気に入っています。学校が再  
開したら大学に進学して、医者になりたいと思っています。



# Myanmar

## ミャンマー カイン・ヤダナー・ソーさん (図書館を利用する子ども)

私は4年生で10歳です。妹と一緒に学校に通っています。週  
に2回図書館に行き、理科の授業で動物のことを学ぶときに  
も、関連する本を読むために図書館を利用します。好きな絵  
本は『山はしている』(鈴木出版)で、動物の習性をこの本から  
学びました。これからは心理や人体についての本も読んでみ  
たいです。将来の夢はお医者さんになることです。



# Laos

## ラオス マイさん (教員)

学生時代、先生の姿に憧れて教員を志しました。人を育て、故  
郷の子どもたちに学ぶ喜びを伝えたいと思っています。通い  
やすい図書づくりのため、本の整理や運営に力を入れ、読  
み聞かせのスキルも磨きたいです。『もうちょっと もうちょっと』  
(福音館書店)がおもしろくて好きです。生徒たちにはラオ語の  
読み書きを身につけ、明るい未来を切り開いてほしいです。



# Cambodia

## カンボジア ラブ・リカさん (学校図書館員)

学校図書館に必要な新刊書や教材が不足していることが課  
題です。提供された新しい本の質や丈夫さに感心し、子ども  
たちが熱心に読書する姿に喜びを感じています。『どうぶつ  
のおかあさん』(福音館書店)や『おおかおどんなかお』(こぐま社)  
などの絵本は、小さな子どもにも分かりやすく人気です。本に  
親しめる場づくりを進めたいと考えています。



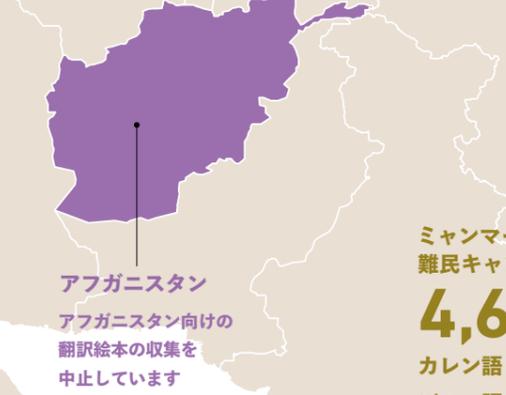
## 届いた翻訳絵本は シャンティの教育文化支援活動に 役立てられています

2025年度に「絵本を届ける運動」を通じて届けた翻訳絵本の冊数

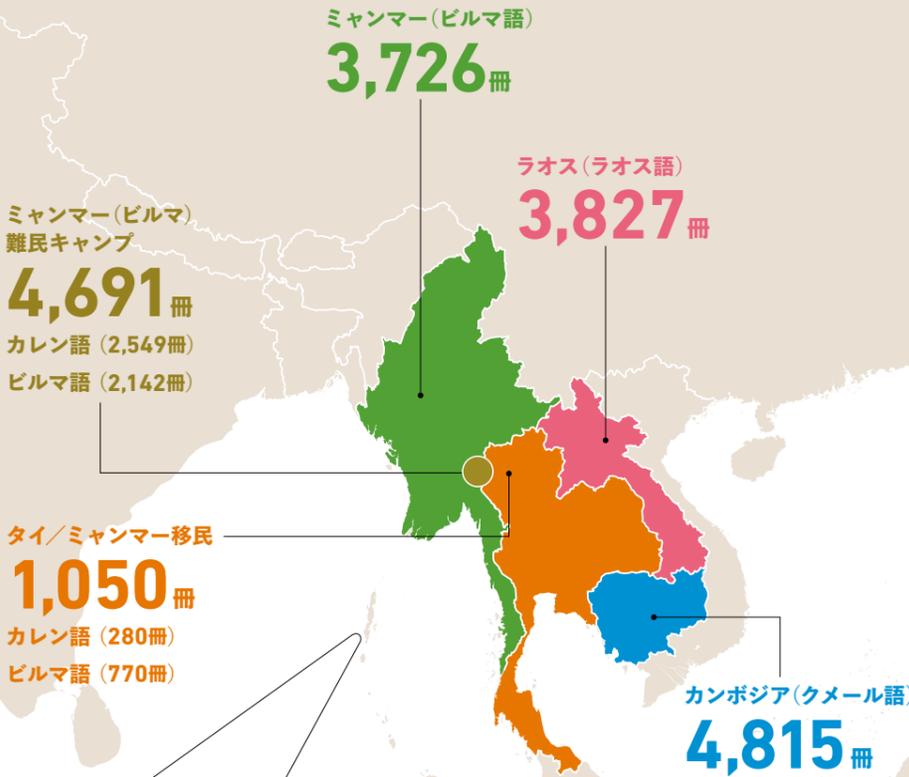
合計冊数 (2025年度末まで)

# 18,109冊

日本での参加者数  
**16,184人**(のべ)  
**405**企業・団体



絵本タイトル数  
**37**タイトル (19社)  
クメール語 — 4,815冊  
ラオス語 — 3,827冊  
ビルマ語 — 6,638冊  
カレン語 — 2,829冊



# Japan

## 2025年度に「絵本を届ける運動」に参加した方々の声

**企業での参加**  
難民キャンプの人たちがどのような生活をしているのか気になり  
ました。この活動はとても素晴らしいですね。

インターネットが当たり前の現代において、地域が違うだけで  
ここまで差があるのかと考えさせられました。

**団体での参加**  
ミャンマーという国がどこにあって、どんな国なのかも全く知  
りませんでした。1日も早く平和になって、子どもたちが、日本  
の子どもと同じように身近に絵本が読めるようになればいい  
なと思いました。

**学校での参加**  
難民の方々へ向けて、自分にできる支援はないかと感じてい  
たので、今回このような形で現地の子どもたちに絵本を届け  
ることができ、とてもうれしかったです。

**個人での参加**  
大人も子どもも楽しんで貴重な経験ができました。「あいうえ  
お表」をみながら、自分の名前の文字を探して、まず別の紙  
に書く練習をして…などしていると、その国へ自然と興味が生  
まれて愛着がわくようでした。

# Myanmar (Burma) Refugee Camps

## ミャンマー(ビルマ) 難民キャンプ エイプリル・ポーさん (図書館を利用する子ども)

図書館は安心できる場所です。『ダメ!』(佼成出版社)は大切な  
勇気を教えてくれた特別な一冊です。嫌なことに「ノー」と言っ  
てもいいのだと背中を押してもらえます。以前は断ることが怖  
かったけれど、今は少しずつ自分を守る勇気が持てるようにな  
り、心が軽くなりました。これからは植物や庭づくりの本を読  
んで、野菜を育てる父の手伝いをしたいと思っています。



## シャンティ国際ボランティア会とは

1981年に設立したアジアを中心に活動する、日本生まれのNGOです。  
子どもたちへの本を通じた教育文化支援、国内外の災害や紛争後の  
緊急人道支援を行っています。

### 「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて取り組んでいます

2015年9月に国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択  
されました。シャンティは「目標4.質の高い教育をみんなに」  
を実現するため、教育課題の解決に取り組んでいます。また、  
「SDGs」「国際理解」などをテーマに、絵本をつくりながら行う  
ワークショップを受け付けています。ご希望の方はウェブサイト  
よりお申込みください。



### 多様な場面で広がる翻訳絵本づくりワークショップ

2025年度は、企業・団体、学校、図書  
館で計55回実施し、2,022名の方にご  
参加いただきました。  
学校・図書館・自治体では、異文化理  
解や多様性に関するイベント、ボラン  
ティア参加や国際協力のきっかけづく  
りとして活用されています。参加者から  
は「アジアの国々につながる体験がで  
きた」との声も寄せられています。また、  
企業・団体では、参加者同士の交流や  
研修の一環として実施されることも増

えています。  
オンライン・対面どちらでも、職員が  
講師として対応可能です。どうぞお気  
軽にお問い合わせください。



これまでに届けた翻訳絵本(累計)

